

市町村いじめ・不登校・貧困対策アクションプラン(令和4年度版)

1 いじめ・不登校・貧困の現状等												
ア いじめ・不登校の現状 (いじめ認知件数及び解消率等) (R2)												
いじめ	小学校					中学校						
	件数	1000人 当たり	いじめの の校数	解消数	解消率	件数	1000人 当たり	いじめの の校数	解消数	解消率		
国	420,891	66.5	-	326,085	77.5%	80,877	24.9	-	62,226	76.9%		
県	8,054	-	-	-	79.1%	1,465	-	-	-	72.0%		
国東市	251	237.9	0	188	74.9%	24	44.0	0	11	47.8%		
(不登校児童生徒数及び1000人当たりの不登校児童生徒の出現率)												
不登校	H28年度		H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度(10月末)	
	人数	1000人	人数	1000人	人数	1000人	人数	1000人	人数	1000人	人数	1000人
小学校	国	-	4.7人	-	5.4人	-	7.0人	-	8.3人	-	10.0人	
	県	282	4.8人	368	6.2人	437	7.3人	558	9.4人	618	10.5人	
	国東市	3	2.6人	1	0.9人	3	2.7人	4	3.6人	7	6.6人	4 3.9人
中学校	国	-	30.1人	-	32.5人	-	36.5人	-	39.4人	-	40.9人	
	県	932	31.2人	975	33.6人	1162	39.1人	1285	43.5人	1374	46.4人	
	国東市	16	25.4人	11	18.2人	8	13.4人	9	16.1人	14	25.6人	12 21.7人
イ いじめ・不登校・貧困の分析												
<p><いじめ> ・認知件数について小学校は大幅に増えたが、中学校は減っている。(R1 小:201件 中:32件)しかし、児童生徒の些細な変化も見逃さないという姿勢で、各学校がいじめの積極的認知に取り組んでいる。 ・いじめ解消率は、小・中学校ともに下がった。(R1 全体:79.3% 小:82.5% 中:59.3%)解決の難しいケースが増えてきている。 <不登校> ・小・中学校ともに、1000人あたりの人数は県平均よりも低い。 ・スタートプログラムを中心とした、中学校の環境への適応に向けた丁寧な取組及び小中連携が充実してきている。 <貧困> ・「貧困のため不登校」である児童生徒はいないが、無関係ではないケースも見られる。</p>												
ウ いじめ・不登校・貧困の課題												
<p><いじめ> ◆認知件数に学校間格差が見られる。 ◆小学校からの人間関係が修復できないまま中学校にあがっているケースが見られる。 <不登校> ◆今年度新たに不登校になった児童生徒には、不登校の状態で転入してきた場合が見られる。 ◆みんなが参加できわかる授業を一層推進する。(新大分スタンダード、授業のユニバーサルデザイン化) <貧困> ◆要保護・準要保護家庭は全体の8.2%</p>												
2 令和4年度の市町村の目標及び取組												
ア 不登校児童生徒数及び出現率の目標値(令和4年度末値)												
		在籍者数	不登校者数	内新規者数	1000人当たりの不登校者数							
	全小学校	997	4	0	4.0人							
	全中学校	564	9	0	15.9人							
イ いじめ解消率の目標(令和4年度末値)												
		解消率										
	全小学校	80.0%	R3:10月末 70.2%									
	全中学校	80.0%	R3:10月末 72.2%									
ウ いじめ・不登校・貧困対策の取組(令和4年度)												
<計画・組織>												
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校や市町村教委における教育相談体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の校長・教頭の指導・助言のもと、情報共有に留まらず、情報収集や明確な対応方針等を決定し教育相談コーディネーターを中心に組織で対応【新】 ・各学校の「児童生徒支援対策プラン」の作成・見直し・改善 ・中学校1年生の適応促進に向けた組織的取組(小中連携会議・校区内小6の交流会等) ・各学年1回以上のスクールロイヤーによるいじめ予防授業・教職員研修の計画的な実施【新】 												
<未然防止>												
<ul style="list-style-type: none"> ○ 短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」の効果的な実践事例を定期的に共有【新】 ○ 全員参加の「分かる」授業の促進 												
<早期発見>												
<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ見逃しゼロ、新規の不登校を生まない教育相談体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・市内全学校の欠席把握と早期支援対応の取組強化 ・ハイパーQU等のアンケート調査結果の分析と結果の活用 												
<解決支援>												
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校の教育相談コーディネーターの支援体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・校長会や教育相談コーディネーター研修会等において説明 ○ 経済的な困難を抱える児童生徒の学習支援の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・全家庭オンラインでの家庭持ち帰りによる1人1台端末を活用した学習支援【新】 												

3 地域児童生徒支援コーディネーターの活用計画(拠点校)																																						
<p>ウ 拠点校での活用内容(地域モデルの構築)</p> <p><計画・組織></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 校内「いじめ対策・不登校児童生徒支援プラン」の作成・改善 <ul style="list-style-type: none"> ・プランの作成と定期的な見直し・改善 ◇ SC.SSWや福祉部局等が参画したいじめ・不登校対策委員会を構築 <ul style="list-style-type: none"> ・SC・SSWの有効活用に向けた日程調整等のコーディネート、福祉課との連携 <p><未然防止></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「人間関係づくりプログラム」の実践推進(全年、原則週1回以上) <ul style="list-style-type: none"> ・「毎週水曜日学活時」等、具体的に計画し、設定する) ◇ 生徒指導の3機能を意識した「分かる授業」の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・研究主任と連携した授業改善の推進(新大分スタンダード、UDの授業) ◇ 校区内小・中学校の定期的な訪問等による連携支援の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・校区内小学校の児童の観察と情報共有、スタートプログラムの工夫・改善 <p><早期発見></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ いじめ・不登校の早期発見のための組織体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・学年部との連携強化と組織的・計画的な早期対応(SC・SSWとの連携含む) ・「児童生徒支援シート」等の作成と活用(小中連携に活用等) <p><解決支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 児童生徒・保護者の思いに寄り添ったいじめ解消や不登校支援の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒や相談室登校生徒への支援と家庭訪問、オンラインでの1人1台端末による遠隔授業や学習用アプリを活用した学習支援【新】 ・教育支援センタースタッフ会議、SC連絡協議会への参加 <p>エ 拠点校での年間計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>教職員研修①(不登校の分析とスタートプログラム、アプローチプログラムの説明・共通理解)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>小中連携会議①</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>教職員研修②(発達障がい)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>QU情報共有会議</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>小中連携会議②</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>8月末～長期休業明け生徒指導</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>小中連携会議③(支援が必要な児童の観察等)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>教職員研修③(いじめ防止対策推進法)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>QU情報共有会議</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>長期休業明け生徒指導、小中連携会議④</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>教職員研修④(ケース会議)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>小中連携会議⑤(情報交換)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>卒業生の児童生徒支援シートの引継ぎ</td> </tr> </tbody> </table> 											月	事業内容	4	教職員研修①(不登校の分析とスタートプログラム、アプローチプログラムの説明・共通理解)	5	小中連携会議①	6	教職員研修②(発達障がい)	7	QU情報共有会議	8	小中連携会議②	9	8月末～長期休業明け生徒指導	10	小中連携会議③(支援が必要な児童の観察等)	11	教職員研修③(いじめ防止対策推進法)	12	QU情報共有会議	1	長期休業明け生徒指導、小中連携会議④	2	教職員研修④(ケース会議)	3	小中連携会議⑤(情報交換)		卒業生の児童生徒支援シートの引継ぎ
月	事業内容																																					
4	教職員研修①(不登校の分析とスタートプログラム、アプローチプログラムの説明・共通理解)																																					
5	小中連携会議①																																					
6	教職員研修②(発達障がい)																																					
7	QU情報共有会議																																					
8	小中連携会議②																																					
9	8月末～長期休業明け生徒指導																																					
10	小中連携会議③(支援が必要な児童の観察等)																																					
11	教職員研修③(いじめ防止対策推進法)																																					
12	QU情報共有会議																																					
1	長期休業明け生徒指導、小中連携会議④																																					
2	教職員研修④(ケース会議)																																					
3	小中連携会議⑤(情報交換)																																					
	卒業生の児童生徒支援シートの引継ぎ																																					

4 地域児童生徒支援コーディネーターの活用計画(教育委員会)										
ア 教育委員会での活用内容 地域児童生徒支援コーディネーターの活動日数(標準) 市教委等での活動=週2日(市教委・関係機関・学校訪問) 拠点校での活動=週3日[授業時間数は週あたり原則6時間以内]										
<計画・組織>										
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 地域の小・中学校の定期的な訪問による指導・助言 <ul style="list-style-type: none"> ・要請に応じた学校訪問とケース会議等への連絡調整・参加【新】 ◇ 市町村及び各学校の「いじめ対策・不登校児童生徒支援プラン」作成・改善 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の「児童生徒支援対策プラン」の作成・改善 ◇ 市町村及び各学校のいじめ・不登校対策委員会の活性化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・拠点校の効果的な取組を学校訪問や研修会で普及 										
<未然防止>										
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 各学校における短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」の効果的な実践事例を定期的に共有【新】 ◇ 地域の教育相談コーディネーター研修会での講師、助言者としての活用 <ul style="list-style-type: none"> ・自校での「人間関係づくりプログラム」の実践報告 ◇ 「児童生徒支援シート」や「スタートプログラム」等を活用した小・中学校の連携 <ul style="list-style-type: none"> ・「児童生徒支援シート」の作成と有効活用の推進 ・「スタートプログラム・アプローチプログラム」等の作成と活用 										
<早期発見>										
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 市町村初期欠席対応システム構築の推進 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 3日連続欠席の児童生徒の把握 各学校のいじめ状況・欠席データの集計分析 </div> ◇ 各種アンケート調査の実施・分析と教育相談体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・自校研修や生徒指導担当者会等でのハイパーQUの説明や取組等の紹介 										
<解決支援>										
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 教育委員会と福祉部局、民間組織(必要に応じて)等が連携した不登校対策推進会議への参画 <ul style="list-style-type: none"> ・年1回国東市いじめ問題対策連絡協議会の実施 ・教育支援センターや民間団体と連携したいじめ・不登校支援の拡大 ・SC・SSW等と連携したケース会議へ連絡調整・参加 ・中高の連携 										
イ 教育委員会での年間計画										
	月	事業内容								
定期的活動		教育支援センタースタッフ会議(毎月1回・福祉課含む)								
		不登校生徒への支援 (要請に応じて)各学校の対策委員会等へ出席								
4		生徒指導主事・生活指導主任研修会① スタートプログラム・アプローチプログラムの取組確認								
5		国東市いじめ問題対策連絡協議会 SC連絡協議会(福祉課・SSW含む) 教育支援センター巡回訪問								
6		令和3年度問題行動等調査の分析								
7		1学期市内いじめ・不登校状況の分析								
8		SC連絡協議会(福祉課・SSW含む)								
		教育支援センターとの連携による不登校生徒への支援 生徒指導主事・生活指導主任研修会②教育相談コーディネーター研修 中学校区毎に小学校6年の交流・小中連携								
9		長期休業明けのいじめ・不登校状況の分析								
10		半期市内いじめ・不登校状況の分析								
11		各学校のいじめ・不登校対策プランの検証・改善								
12		2学期市内いじめ・不登校状況の分析								
1		長期休業明けのいじめ・不登校状況の分析								
2		次年度スタートプログラム・アプローチプログラムの協議								
3		年間のいじめ・不登校状況の集計と分析								
		小中連携会議								
5 中学校学習支援教員について										
◆経済的困窮世帯の生徒支援という目的に則った中学校学習支援加配教員の活用について										